

筑波大学大学院人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
リハビリテーション科学 学位プログラム 博士前期課程

令和6年度入学試験

論述試験問題

[注意]

1. 問題は、問題1と問題2の2問です。
問題1は、(1)と(2)の2つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
問題2は、(1)と(2)の2つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
2. 答案用紙は600字詰め4枚、下書き用紙は4枚あります。
答案は、設問ごとに答案用紙1枚にまとめて記載してください。
答案用紙の裏面は使用しないでください。
下書き用紙は、自由にお使いください。
3. すべての答案用紙に必ず受験番号を記入してください。
4. 各答案用紙の欄外の左上に、問題番号[問題1(1)、問題1(2)、問題2(1)、問題2(2)]を明記してください。
5. 試験終了後、問題用紙と下書き用紙も回収しますので、持ち帰らないでください。

問題 1

下記の表 1 は、第 12 回大都市交通センサス「鉄道定期券・普通券等利用者調査」をもとに集計を行った、A 圏域の年齢別端末交通手段構成比である。端末交通手段とは、出発地・目的地から駅までの交通手段を指す。また、下記の表 2 は、国立社会保障・人口問題研究所が 2015(平成 27)年の国勢調査をもとに行った将来推計で、世帯主 65 歳以上の世帯の家族類型別世帯数である。

- (1) 表 1、表 2 から読み取れることを 600 字以内で述べなさい。
- (2) 読み取った内容に基づき、A 圏域において人々の移動に関わり今後対応が求められることを 400 字程度で述べなさい。

表 1 A 圏域の年齢別端末交通手段構成比

(単位：%)

| | | 徒歩 | 自転車 | 車 (送迎) | 車 (その他) | バス・ 路面電車 | タクシー | その他 |
|-----|--------|------|------|-----------|------------|-------------|------|-----|
| 都心部 | 65 歳未満 | 46.2 | 35.5 | 0.9 | 2.6 | 1.4 | 13.1 | 0.3 |
| | 65 歳以上 | 61.2 | 15.1 | 1.3 | 2.1 | 0.4 | 16.9 | 3.0 |
| 郊外部 | 65 歳未満 | 30.6 | 38.5 | 2.9 | 12.6 | 9.4 | 6.0 | 0.0 |
| | 65 歳以上 | 34.9 | 31.4 | 2.5 | 11.5 | 11.6 | 8.1 | 0.0 |

表 2 世帯主 65 歳以上の世帯の家族類型別世帯数の推計

(単位：1,000 世帯)

| 年次 | 総数 | 単独 | 核家族世帯 | | | | その他 |
|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|
| | | | 総数 | 夫婦のみ | 夫婦と子 | ひとり親と子 | |
| 2020 年 | 20,645 | 7,025 | 11,551 | 6,740 | 2,990 | 1,821 | 2,069 |
| 2030 年 | 21,257 | 7,959 | 11,483 | 6,693 | 2,842 | 1,948 | 1,816 |
| 2040 年 | 22,423 | 8,963 | 11,752 | 6,870 | 2,906 | 1,976 | 1,708 |

問題 2

次の文章（4頁～7頁）は、『よく考える人よく動く人』（サミュエル・スマイルズ著、竹内均訳、三笠書房、2001年）の一部を抜粋、改変して掲載（下線は出題のために強調）したものである。

この文章を読んで、以下の設問（1）と（2）に答えなさい。

- （1） 著者は、「学問に王道なし」という格言を引用し、「ねばり強く努力していく以外に、知恵と理解力を獲得する道はない」としている。この考え方に対するあなたの意見を400字以内で述べなさい。

- （2） 著者は、本文で「現実生活から得た経験は真の知恵となる」としている。この考え方を踏まえ、あなたのリハビリテーション実践における「実践的な知恵」の具体例を挙げ、その知恵をどう科学的に実証し得るかについて400字以上600字以内で記述しなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。